

## 1971年度総会

1971年度総会および春季研究発表会は、6月17日、18日の2日間、東京大学の経済学部において開催された。

17日の午前は恒例の総会が開かれ、1970年度の事業報告と決算報告、本年度の事業計画と予算案、会則の一部改訂および補足案が審議承認され、さらに本年度の評議員の選出が行なわれた。

続いて17日の午後より18日全日にわたって、春季研究発表会が行なわれ、特別講演3件、研究発表55件が行なわれた。さらに19日には見学会として、東芝集中検診センターと東京瓦斯製造データ処理室を訪れ、集中検診システムとプラント稼動状況のオンラインシステムの実際を見学した。

### 1971年度総会議案

#### 1970年度事業報告

##### 1. 会員の状況

種 別	通常会員	学生会員	賛助会員
1969年度末	1,241	96	(社) 114
1970年度入会	142	57	10
1970年度学生から移行	30	-30	
1970年度退会	-47	-1	-8
1970年度整理	-32	-2	0
1970年度末	1,334	120	116

##### 各支部別

支 部	通常会員	学生会員	賛助会員
本 部	877	83	(社) 64
北 海 道	22	0	3
東 北	54	0	3
中 部	91	9	16
関 西	170	24	17
中 国・四 国	85	3	8
九 州	35	1	5
合 計	1,334	120	116

##### 2. 総 会

1970年度総会は6月2日午前9時から東医健保会館において開催され、下記事項について審議、承認された。

- (1) 1969年度事業報告および収支決算の件
  - (2) 1970年度事業計画および予算の件
  - (3) 1970年度役員の評
  - (4) 名誉会員推薦の評
- 続いて大西記念文献賞の授賞式が行なわれ、賞状、賞杯ならびに賞金が送られた。

##### 3. 評議会

1970年6月2日、1971年6月3日の2回開催し

た。

##### 4. 理事会

1970年6月より1971年6月の間に6回開催した。

##### 5. 各委員会

学会活動を強化する目的で下記の委員会が活動した。

- (1) 改革第一委員会
- (2) 組織委員会
- (3) 法人化委員会
- (4) 広告委員会
- (5) 賛助会員拡充委員会

##### 6. 国際協力

- (1) IAOR (International Abstract in Operations Research) 誌の発行に協力し、IAOR

のための国内 OR 文献の抄録活動ならびに IAOR 誌 Vol. 10 の国内頒布を行なった。

- (2) 1975年 IFORS 国際会議を日本に招へいするため IFORS に対し、招へいする用意のある旨意志表示を行なうとともに、その準備のためのグループを発足させた。
- (3) IFORS 会長の Dr. Jensen (デンマーク) の来日を機として8月6日会合を行なった。
- (4) 米国マッキンゼー社の OR 部長, Dr. Hertz の来日を機として8月24日に懇談会を行なった。
- (5) カリフォルニア大学の Charchman 教授の来日に際し10月29日夕食会を行なった。
- (6) 米国ワシントン市において1971年4月12日～4月15日まで開催された IFORS 主催の Cost-Effectiveness に関する国際会議に、一橋大学の宮川公男教授を代表として、計4名を派遣した。

7. 研究発表会

研究発表会を春・秋2回行なった。

- (1) 第27回研究発表会は6月2日, 3日の両日東医保健会館で開催し, 翌4日には国鉄の新幹線みどりの窓口と, 首都高速道路路団のコントロールセンターを見学した。

特別テーマ 通信と制御の OR  
 特別講演 2件  
 研究発表 55件

- (2) 第28回研究発表会は11月7日, 8日の両日大阪大学・経済学部で開催し, 翌9日には神戸港の開発状況を見学した。

特別テーマ シミュレーション  
 特別講演 4件  
 研究発表 54件

8. 刊行物

「経営科学」第13巻, 第3, 4号, 第14巻, 第1, 2, 3号および「JORSJ」Vol. 12, No. 2, 3, 4, Vol. 13, No. 1, 2, 3 を発行した。

9. 研究会活動

下記の11部会が活発な研究活動を行なった。

スケジューリング応用部会, 電力部会, PPBS 部会, 予測部会, 組合せ理論部会, 設備投資・取替計画の経済計算部会, 待ち行列部会, 信頼性部会, システム部会, MIS 部会, 数理計画部会 (PPBS 部会以下1970年度発足)

10. 大西記念文献賞

大西記念文献賞選考委員の推薦により下記の授

研究部会活動一覧表

部会名	主要幹事	メンバーまたは出席者	研究会	内容	場所	
様子報告	スケジューリング応用	渡辺 康	6～20名	13回 総務会3回 見学会2回	文献紹介 実施例紹介	コンピューター メサロン 古河電工 三菱電子力
	電力	後藤 若林	13名	3回 他作業グループ検討会 数回, 委員会3回	電力事業におけるMPとOR用 アプリケーションプログラムの現 状と問題点の把握	各電力会社
	PPBS	今村 久	10名前後	月2回 講演会1回	本業会資料の勉強会 日本への導入上の問題点の研究 PPBSの実用まとめ 講演会「航空機設計」	東洋経済
	予測	西野 隆	10数名	月1回	住宅予測	OR学会 早大生研
	組合せ理論	伊藤 若林	7～12名/回	月1回	文献の調査, 問題の提示 総合報告, 事例研究	東 大
	設備投資・取替計画の経済計算	千住 水村	15名	月1～2回	基本的文献調査	慶応工学会
	待ち行列	森村 隆	9～14名	月2回	総合報告, 研究報告と討論 文献調査(抄録数90篇)	東 工 大
	信頼性	真壁 啓郎	13～15名/回	月1回	(研究会) 文献調査・事例研究 (他) シンポジウム・学会関係時 工機見学... 奨励	東 工 大
	システム	松田(正) 出 啓	6～13名	月1～2回	テーマ論文「The Systems Approach」執筆 2, 3の主題についての討議	早大生研
	MIS	松田(武) 高 村	10名前後	月1回	多所集計画情報システムの研究並 びに情報システムの経済分析に関 する研究	東 工 大
	数理計画 (MP)	刀 根 伊 倉	9～13名/回	月1回	MP全般の調査, ILPの解法 の比較検討, 応用的な事例研究, 文献の整理	OR学会

賞を決定した。

「都市圏におけるマス・トランスポーテーションの最適計画」

「経営科学」第13巻第1号, PP. 48～70

京都大学 青山吉隆

11. 普及活動

- (1) OR 金曜サロンを刊行物委員会の主催で毎月1回, ランダムに選ばれた会員とORに関するテーマを決めて話し合い, 記録を「経営科学」に掲載した。

- (2) 1971年1月より月例講演会を3回開催した。テーマはつぎのとおり。

1月 交通管制の最近の問題点

定方希夫

2月 整数計画法における最近の進歩と動向

成久洋之

3月 電力事業におけるOR

若林 剛

- (3) 11月25日～27日の3日間, 第2回 TEMPO セミナーに協賛した。会員には参加費の面で受講の便が計られた。

- (4) 1971年1月より毎月1回「OR学会だより」を発行した。

12. 支部活動

	北海道	東北	中部	関西	中国・四国	九州
支部総会、特別協議会	支部総会、特別協議会 2回	支部総会、特別協議会 1回	支部総会、特別協議会 1回	支部総会、特別協議会 2回	支部総会、特別協議会 1回	第3回支部総会、特別協議会 1回
研究会	3回		10回 (内1回は見学会も含む)		広島 3回	九州OR共研研究会 4回
産学協会	生産性本部、OR基礎講習会を後援(4~8月、3時間×43回)	3回				
講演会	生産性本部、OR基礎セミナーを後援(4テーマ、2日間)			企業会計情報システム訪米視察団報告会 1回	広島 2回	
出版					研究会資料 1回	OR九州 No.8 ~11 4回発行
その他	見学会1回(北海道電力自動制御システム)発表情報ワークショップアソシエイト受託研究	ORサロン 7回	座談会1回(経営者はなぜORに對して理解を示さないか、他)	OR学会林秀樹実業委員会、見学会、本部との連携化、支部活動の活発化を図る。	幹事会 6回	

1970年度収支計算書 自 1970年4月1日 至 1971年3月31日

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
貸入金	5,675,000	刊行費	3,073,965
助成金	167,709	大会費	1,038,805
1 A O R 収入	4,327,277	編集費	755,000
基金取崩し	116,000	印刷費	253,585
海外視察事務局受入	1,920,126	通信費	888,251
	160,000	印紙料	744,091
	3,575,000	事務用品費	330,276
		事務賃借費	2,445,310
		手数料	453,230
		手数料	92,255
		支店費	534,939
		印刷費	311,600
		国際協力費	405,427
		商費	104,500
		大家賃	1,440,959
		備品費	853,915
		書籍及活動費	91,800
		特別委員会	78,389
		総務費	217,000
		会費徴収不能損失	152,903
			338,100
小計	16,765,021	小計	14,671,915
		I F O R S 基金	3,000,000
		当期繰越高	△ 914,894
合計	16,765,021	合計	16,765,021

13. その他

(1) 広告の件

「経営科学」第14巻第3号より広告を掲載した。

(2) 海外視察団派遣の件

「企業会計情報システム訪米視察団」を1971年1月7日より2月1日まで、米国カーネギー・メロン大学で5日間のセミナーを、ジョージア工科大学では2日間のセミナーを中心として派遣した。

団長 松田武彦 東工大教授  
 コーディネータ 津曲直躬 東大助教授  
 団員 24名

海外視察費報告 1971年3月31日現在

費目	A I S	C-E	計
海外視察費	32,300,000	3,450,000	35,750,000
合計	32,300,000	3,450,000	35,750,000

  

費目	A I S	C-E	計
企画費	161,005	59,500	220,505
国内研修費	1,586,984	442,156	2,029,140
船賃	114,240	0	114,240
in Japan 作成費	294,730	0	294,730
海外視察関係費	25,287,885	3,103,766	28,371,652
雑費	377,020	1,250	378,270
特別事業事務局受入	3,230,000	345,000	3,575,000
合計	31,031,955	3,951,672	34,983,537

総収入 35,750,000  
 総支出 34,983,537  
 \*\*差引 766,463  
 \* 特別事業事務局受入は各事業が学会に対し全収入の10%を事務局に納入(事務費の負担分)するものとして計上。  
 \*\* 差引は繰入金協定へ振替ただし、この中から  
 A I S関係として 報告書作成 400,000  
 事務研抄費 200,000  
 アルバム 150,000  
 C-E # 報告書作成 250,000  
 雑費 25,000  
 が必要になるので、これら経費は次期に繰越し予算に計上する。

1970年度会計報告

貸借対照表 自 1970年4月1日 至 1971年3月31日

借方	金額	貸方	金額
現金	6,001	繰越金	3,457,459
振替貯金	5,006	前受金	58,000
小切手	205,440	移転引当金	992,228
普通預金(第一)	2,141,467	退職引当金	699,000
〃 (佐友)	3,638,614	賞金基金	300,000
当座預金(第一)	37,962	法人化基金	400,000
〃 (佐友)	41,103	I F O R S 基金	3,000,000
未収入金	735,900	当期繰越高	△ 914,894
未済年度未収金	191,200		
保証金	1,000,000		
合計	7,991,793	合計	7,991,793

1971年度事業計画

1. 研究発表会

春、秋2回開催し、春季は東京大学において総会をかねて行ない、秋季は宇部短期大学において10月30、31日、11月1日に開催する。

特別テーマは検討中。

2. 刊行物

- (1) 「経営科学」を7回、「JORSJ」を5回発行する。
- (2) 「PPBS とシステム分析」を出版する。
- (3) 学会誌の定期発行を促進し、広告を掲載する。

